

教育委員会(学校教育総務課・生涯学習課)

問 ささゆり学園が義務教育学校になり最初の年度となったが、どのような1年であったか問う。

答 緊張感をもって学校教育の在り方を注視した年度となった。小学校・中学校の文化には違いがあり、本当の意味で1つの学校になるには長い道のりがあるが、1年目としては順調な滑り出しができた。

問 淨るりシアターのホール内部の照明設備LED化による効果について問う。

答 電気代抑制の効果が出ている。また、電球が熱を持たなくなり、非常に作業がしやすくなった。

問 教職員の時間外労働の状況を問う。

答 令和3年度に比べると少し減少しているが、教員によってばらつきがあるので、働き方改革に取り組まなければいけないと考える。

問 ICT教育環境管理事業による一人一台のタブレット端末の経年劣化やバッテリー消耗状況を問う。

答 教員用タブレット、児童生徒用タブレット、どちらもバッテリーが消耗してきている。メンテナンス期間が5年だが、保守点検で直るのか、取替えが必要なのかを台数を含めて考え進めていく。また、今後は財政的な面も考慮しながら、購入か、リースか、補助金はどう活用できるのか等も決めていく。

特別会計

■能勢町国民健康保険特別会計■

問 健康増進事業の現状と、今後の展開について問う。

答 令和5年度健康増進事業では、1人あたり1万5000円給付を継続している。その他の保健事業については、能勢町国民健康保険運営協議会で検討を行う。

■能勢町国民健康保険診療所特別会計■

問 ふれあいプラザへの移転に伴って医療器具の更新等が行われているが、その項目を問う。

答 レントゲン機器、電動診察台、薬剤分包機、薬棚等が更新されている。

■能勢町農業集落排水事業特別会計■

問 一般会計繰入金の基準内繰入分以外の繰入金は企業会計になった折には縮小が必要と聞くがどう対応するかを問う。

答 事業に関わる費用を抑えるため、接続啓発を行うなど経営努力を行っていく。

■能勢町介護保険特別会計■

問 高額介護サービス貸付基金の利用実績はあるかを問う。

答 介護サービス利用料が高額になる場合、立替払いをして払戻を受ける制度がある。立替払い時の負担を軽減するために貸付基金制度が設けられているが、創設時から利用実績はない。

■能勢町下水道事業特別会計■

問 汲み取りし尿を下水処理施設で処理をする計画について問う。

答 設計・施行・維持管理について検討を行っている。令和7年度に供用開始できればと考えている。

問 一般会計からの繰入が高額になっているが、どう対処するかを問う。

答 いつまでも一般会計から繰入するわけにはいかないので、し尿処理との統合や、接続率の向上、料金改定についても検討する。

